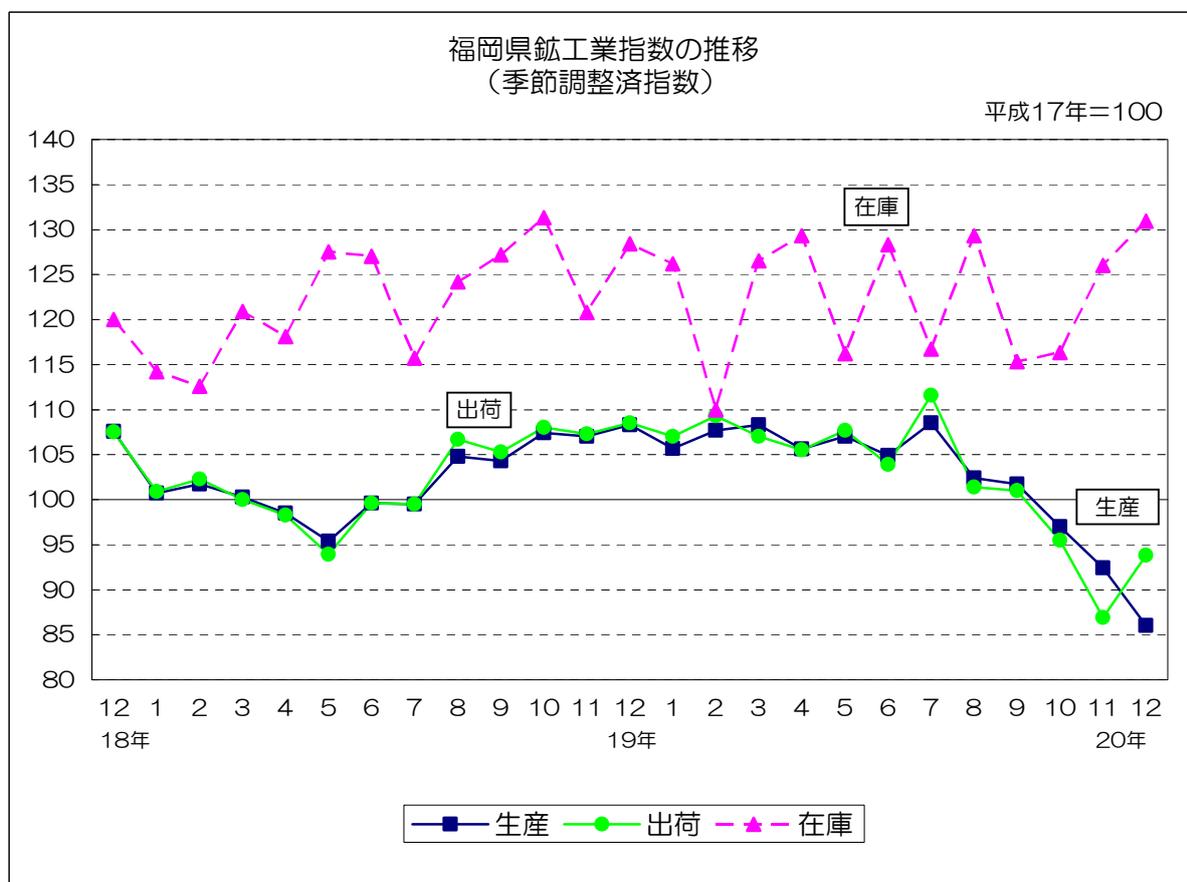


平成17年基準

福岡県鉱工業指数月報

(平成20年12月)



平成20年12月の鉱工業指数

概 況

○ 平成20年12月の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前月比6.9%の下落、出荷が同7.9%の上昇、在庫が同3.9%の上昇となった。

(1) 生産

季節調整済指数 : 86.0で前月比6.9%減（5か月連続のマイナス）
原指数 : 87.2で前年同月比18.7%減（5か月連続のマイナス）

(2) 出荷

季節調整済指数 : 93.8で前月比7.9%増（5か月ぶりのプラス）
原指数 : 97.5で前年同月比11.1%減（5か月連続のマイナス）

(3) 在庫

季節調整済指数 : 130.9で前月比3.9%増（3か月連続のプラス）
原指数 : 119.7で前年同月比2.9%増（2か月連続のプラス）

○ 前月比（季節調整済）	[上昇]	[横ばい]	[下落]
生産（18業種中）	: 5業種	0業種	13業種
出荷（18業種中）	: 4業種	0業種	14業種
在庫（18業種中）	: 12業種	0業種	6業種

(1) 九州・全国との比較

（平成17年=100）

		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比%		前年同月比%
福岡県	生産	86.0	▲ 6.9	87.2	▲ 18.7
	出荷	93.8	7.9	97.5	▲ 11.1
	在庫	130.9	3.9	119.7	2.9
九州	生産	88.6	▲ 10.5	90.4	▲ 20.2
	出荷	85.2	▲ 11.8	88.2	▲ 23.5
	在庫	121.0	3.5	119.7	16.1
全国	生産	84.6	▲ 9.6	87.1	▲ 20.6
	出荷	86.0	▲ 8.0	89.8	▲ 20.5
	在庫	110.5	0.1	108.9	4.7

(2) 前月比（季節調整済）での上昇下落業種（生産指数のみ）

上昇に寄与した業種	下落に寄与した業種
金属製品工業 食料品・たばこ工業 石油・石炭製品工業 繊維工業 木材・木製品工業	化学工業 輸送機械工業 鉄鋼業 一般機械工業 電子部品・デバイス工業 窯業・土石製品工業 ゴム製品工業 電気機械工業 パルプ・紙・紙加工品工業 プラスチック製品工業 鉱業 非鉄金属工業 家具工業

四半期別指数の動向

平成20年10～12月期の概況

○ 今期の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前期比11.9%の下落、出荷が同12.0%の下落、在庫が同3.3%の上昇となった。

(1) 生産

季節調整済指数 : 91.8で前期比11.9%減（4期連続）
原指数 : 93.8で前年同期比15.0%減（6期ぶり）

(2) 出荷

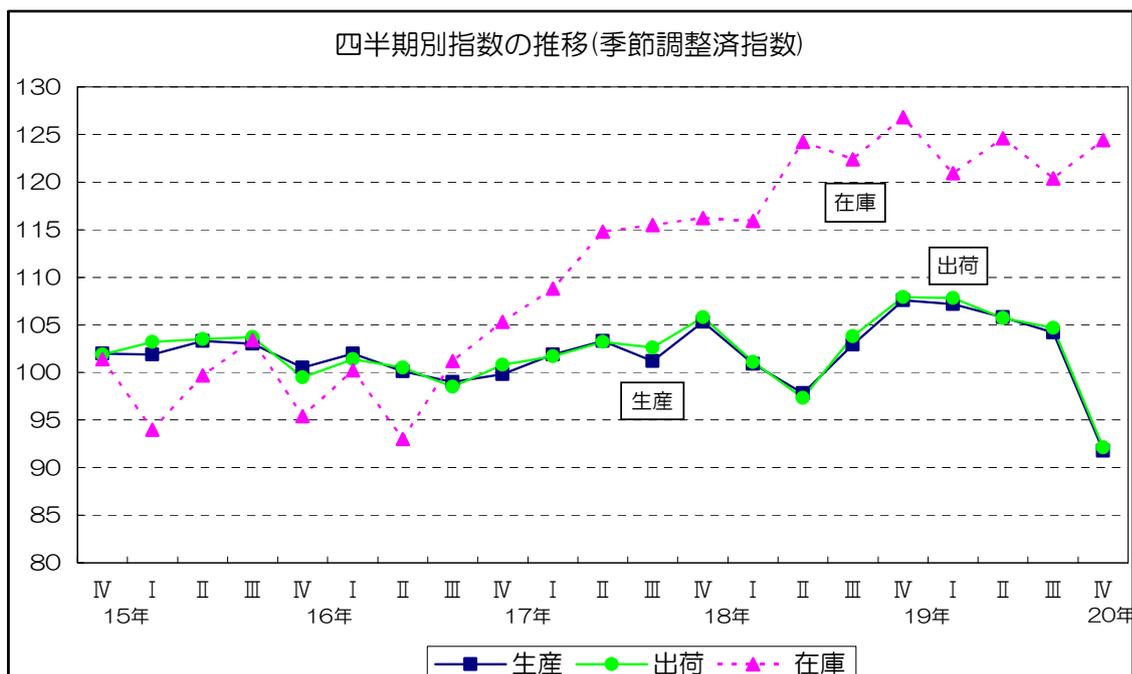
季節調整済指数 : 92.1で前期比12.0%減（4期連続）
原指数 : 94.9で前年同期比15.2%減（6期ぶり）

(3) 在庫

季節調整済指数 : 124.4で前期比3.3%増（2期ぶり）
原指数 : 124.3で前年同期比2.0%減（2期連続）

平成17年=100

		生 産		出 荷		在 庫	
		季節調整済 指数	前期比 (%)	季節調整済 指数	前期比 (%)	季節調整済 指数	前期比 (%)
19年	10～12月期	107.6	4.6	107.9	3.9	126.8	3.6
20年	1～3月期	107.2	▲ 0.4	107.8	▲ 0.1	120.9	▲ 4.7
	4～6月期	105.8	▲ 1.3	105.7	▲ 1.9	124.6	3.1
	7～9月期	104.2	▲ 1.5	104.7	▲ 0.9	120.4	▲ 3.4
	10～12月期	91.8	▲ 11.9	92.1	▲ 12.0	124.4	3.3
		原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)
19年	10～12月期	110.4	3.3	111.9	3.4	126.8	9.3
20年	1～3月期	108.0	6.9	108.9	7.1	119.2	5.1
	4～6月期	105.0	8.6	104.4	9.2	124.6	0.2
	7～9月期	103.4	1.9	103.0	1.6	122.9	▲ 1.4
	10～12月期	93.8	▲ 15.0	94.9	▲ 15.2	124.3	▲ 2.0



全業種・主要9業種の動向
(20年12月)

○ 全業種の動向

- (1) 生産指数は86.0(季節調整済)となり、前月と比べると金属製品工業や食料品・たばこ工業などが上昇したが、化学工業や輸送機械工業などが下落したため、総合では前月比6.9%の下落(前年同月比18.7%の下落)となった。
- (2) 出荷指数は93.8(季節調整済)となり、前月と比べると鉄鋼業や電子部品・デバイス工業などが下落したが、輸送機械工業や金属製品工業などが上昇したため、総合では前月比7.9%の上昇(前年同月比11.1%の下落)となった。
- (3) 在庫指数は130.9(季節調整済)となり、前月と比べると一般機械工業や電子部品・デバイス工業などが下落したが、輸送機械工業や化学工業などが上昇したため、総合では前月比3.9%の上昇(前年同月比2.9%の上昇)となった。

○ 主要9業種の動向

[生産]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または下落に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	▲15.5	▲27.5	特殊鋼熱間圧延鋼材、粗鋼、冷延電気鋼帯
金属製品	30.9	57.7	粉末冶金製品、スチール又はステンレスシャッター、鉄骨
一般機械	▲9.7	▲7.5	クレーン、固定比減速機、C(W)BN工具
電気機械	▲3.2	▲7.8	サーボモータ、電力量計、電気ホイス
電子・デバイス	▲19.3	▲39.6	線形回路、計数回路、光電変換素子
輸送機械	▲9.6	▲46.8	普通自動車、鋼船、自動車部品
窯業・土石製品	▲5.8	▲8.4	安全ガラス複層ガラス、生コンクリート、ファインセラミックス
化学	▲25.2	▲5.3	医薬品、ビスフェノールA、カプロラクタム
食料品・たばこ	1.6	▲0.9	めん類、弁当、パン
総合	▲6.9	▲18.7	—

[出荷]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または下落に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	▲19.4	▲29.2	軌条、冷延電気鋼帯、特殊鋼熱間圧延鋼材
金属製品	20.0	22.3	粉末冶金製品、飲料用缶、鉄骨
一般機械	▲6.0	▲7.9	クレーン、固定比減速機、鉄鋼用ロール
電気機械	▲2.3	▲8.9	サーボモータ、電力量計、開閉制御装置
電子・デバイス	▲20.8	▲41.7	線形回路、計数回路、光電変換素子
輸送機械	57.2	▲9.3	普通自動車、鋼船修理
窯業・土石製品	▲6.2	▲5.7	ほうろろ鉄器、生コンクリート、耐火煉瓦
化学	▲1.2	▲6.7	医薬品、カーボンブラック、カプロラクタム
食料品・たばこ	▲3.4	0.5	ビール、冷凍調理食品、配合飼料
総合	7.9	▲11.1	—

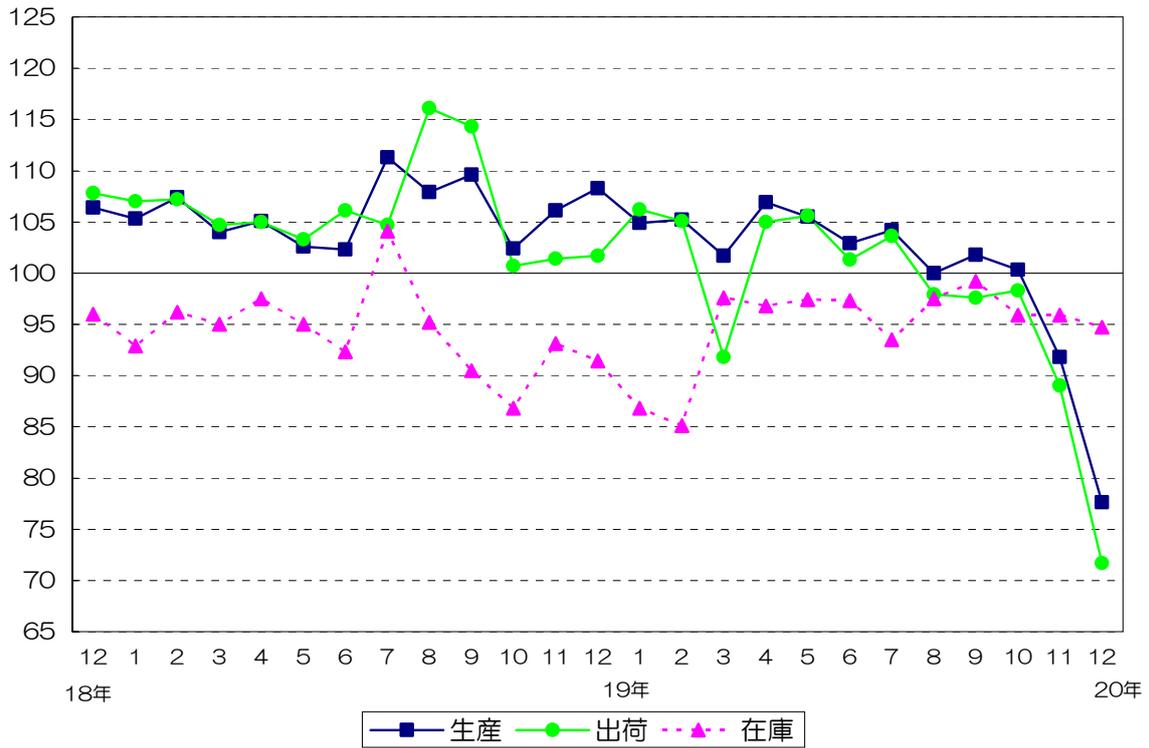
[在庫]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または下落に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	▲1.3	4.0	特殊鋼熱間圧延鋼材、特殊鋼冷間仕上鋼材、銑鉄
金属製品	14.6	73.2	ガス湯沸器、飲料用缶、ガス炊飯器
一般機械	▲11.4	▲23.5	ショベル系掘削機(油圧式)、油圧ポンプ
電気機械	▲5.2	▲11.4	電力量計、電気ホイス、電気温水器
電子・デバイス	▲43.6	▲1.4	線形回路、計数回路
輸送機械	11.1	▲15.9	普通自動車
窯業・土石製品	1.1	▲5.4	道路用コンクリート製品、耐火煉瓦、ボード(せっこうボード)
化学	4.6	55.8	ビスフェノールA、トルイレンジイソシアネート、カーボンブラック
食料品・たばこ	5.7	▲0.2	焼酎、ビール、砂糖
総合	3.9	2.9	—

(注) 前月比は季節調整済指数、前年同月比は原指数による。

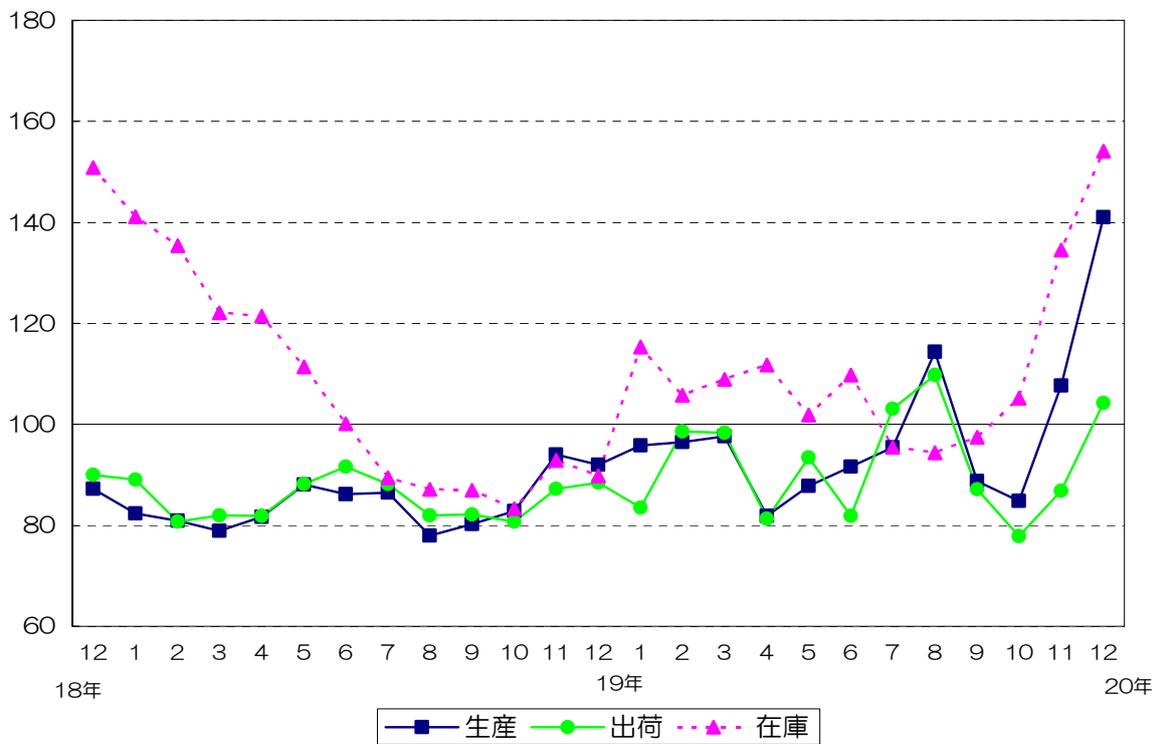
鉄鋼業（季節調整済指数）

平成17年=100



金属製品工業（季節調整済指数）

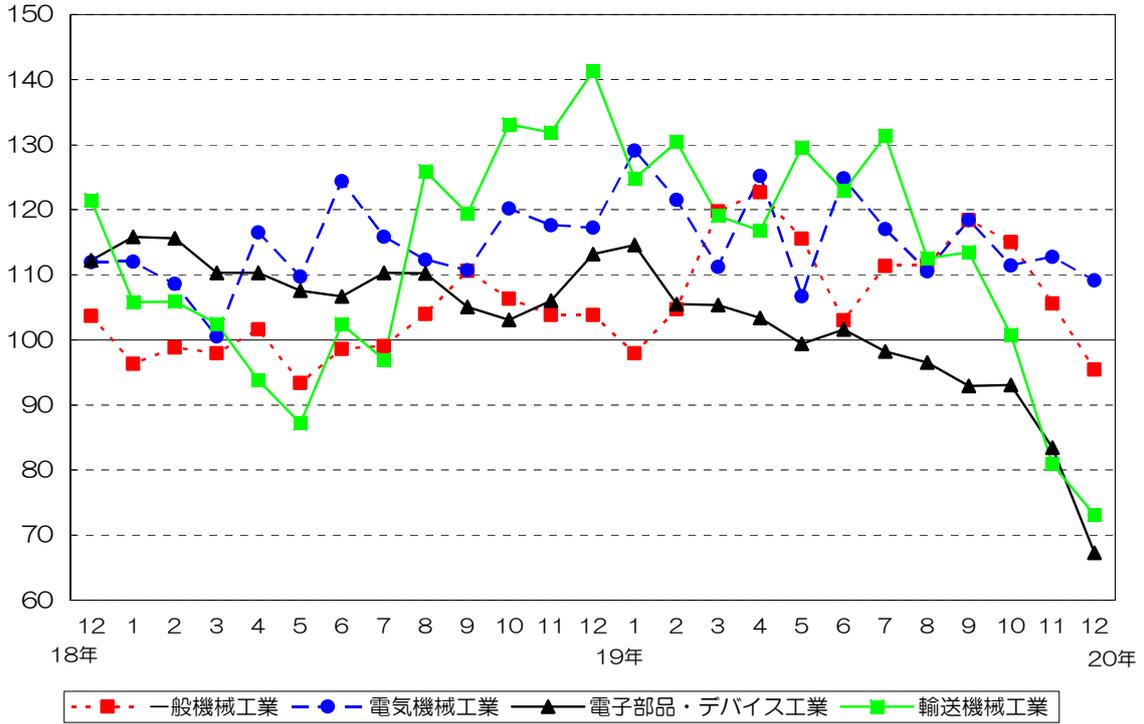
平成17年=100



機械工業（季節調整済指数）

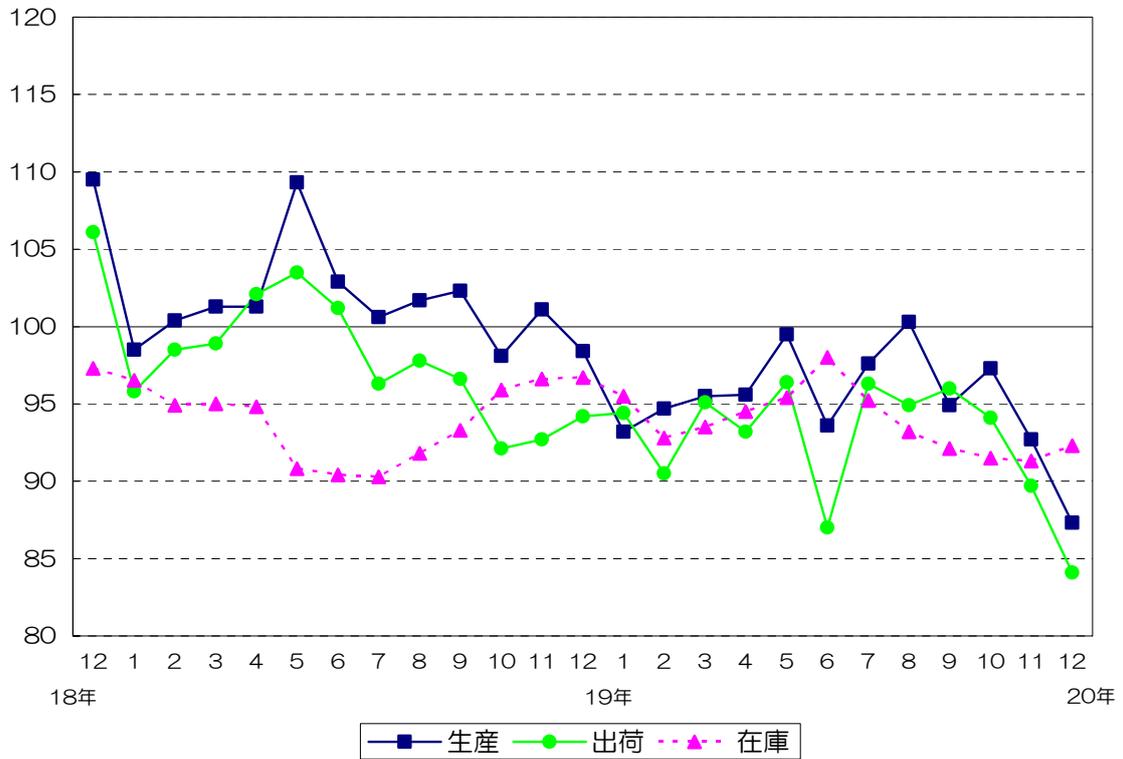
*生産指数のみ。

平成17年=100



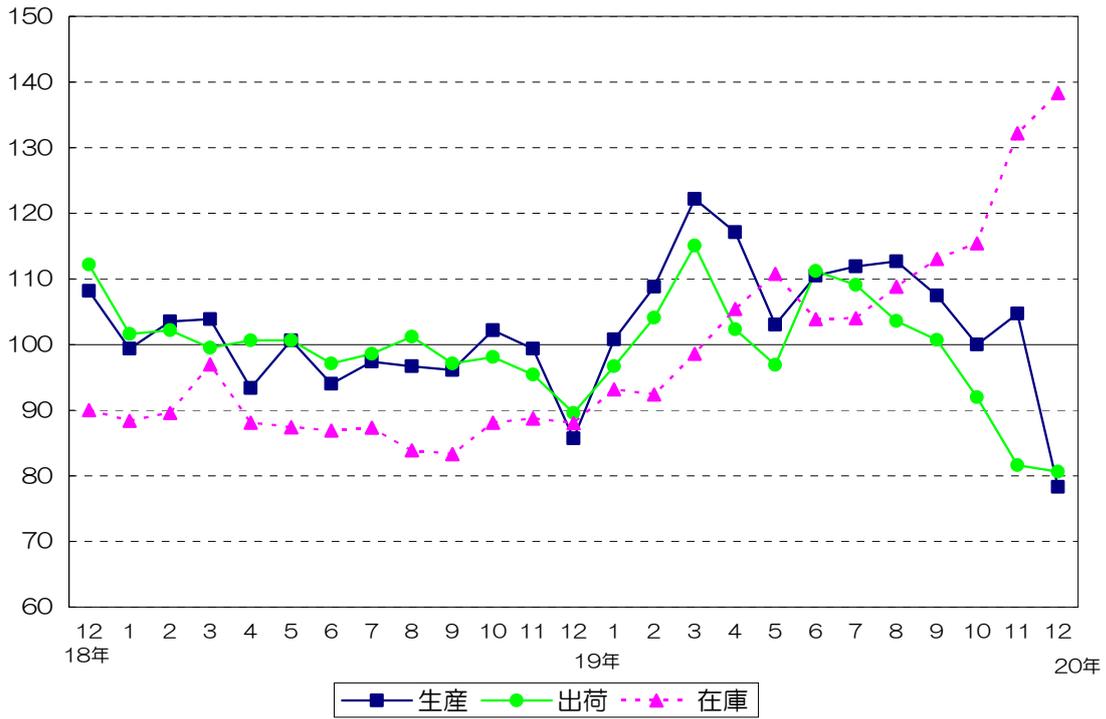
窯業・土石製品工業（季節調整済指数）

平成17年=100



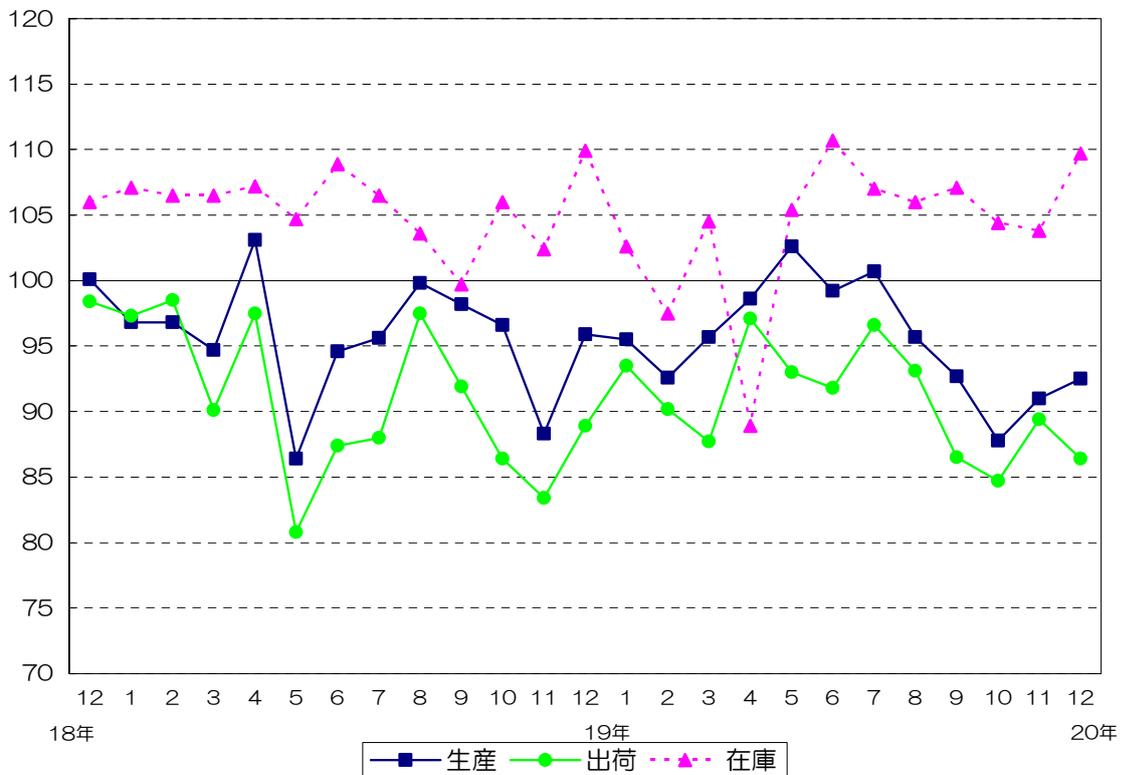
化学工業（季節調整済指数）

平成17年=100



食料品・たばこ工業（季節調整済指数）

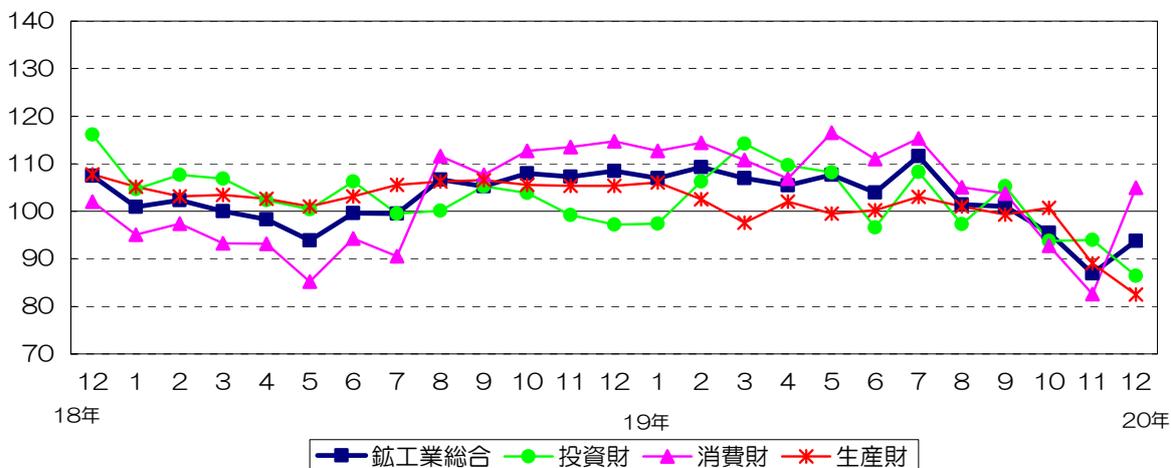
平成17年=100



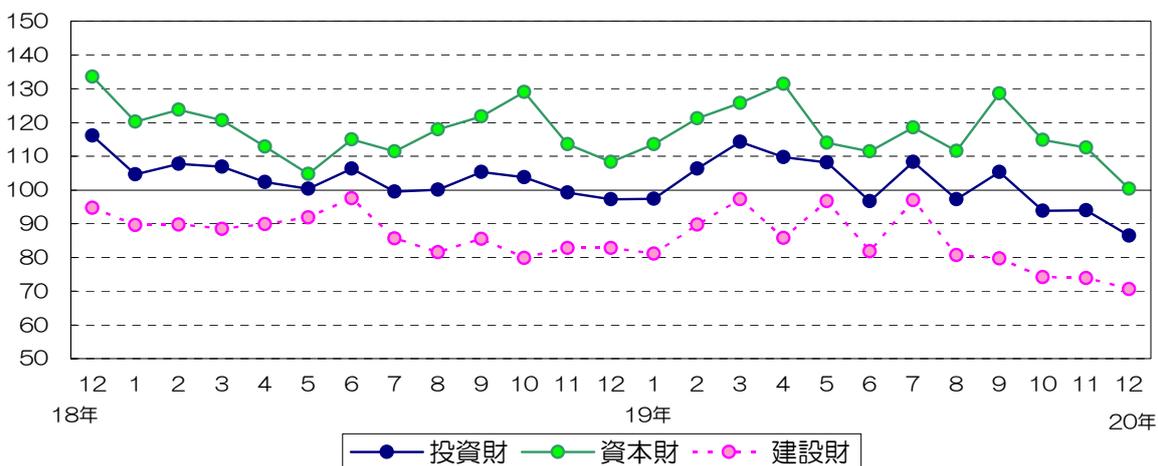
福岡県鉱工業出荷指数財別の推移（季節調整済指数）

平成17年=100

鉱工業総合



投資財



消費財

